

第32回日本ジオパーク委員会審査結果報告を受けて立案したアクションプラン及び推進計画

平成30年度四国西予ジオパーク 推進作業計画(アクションプラン)

○平成30年度のジオパーク推進事業予算は、36,163千円、ジオパーク拠点施設整備事業は、35,906千円(31年度予算610,756千円)、合計72,069千円を予算化した。

○現在、ジオパーク推進基金条例を制定しており、約1億2千万円の基金を保有している。今後、それを取り崩しながら継続的に事業を行うことができるようにしている。

○西予市は、ジオパークを市の施策の柱とするために、第2次総合計画にジオパークを大きく取り上げている。また、市民と協働し全庁一体となってジオパークの推進を実現することを目的に四国西予ジオパーク推進計画を策定し、事業を推進してきた。本年度、アクションプランをより具体化した、第2次四国西予ジオパーク推進計画を策定することとしており、教育や地域振興、農林水産、観光、特産品開発・販売など、関係各課と連携して持続的な推進を図っていく。

○第2次四国西予ジオパーク推進計画が完成次第、ジオパーク委員会とJGN事務局に提出する。

作業内容	年度				備考
	30	31	32	33	
1. 緊急に解決すべき課題(おおむね1年以内)					
1 ジオパーク推進計画					平成30年度ジオパーク関連事業予算:72,069千円(前年度予算:68,440千円)
第2次ジオパーク推進計画の策定					第2次ジオパーク推進計画を策定する。(今後4年間のアクションプラン)
2 ジオストーリーとジオツーリズム					
ジオストーリーの構築と共有	構築		共有		現在作成中の案を市民や専門家と連携し、今年度中にストーリーを構築し、市民、ガイド等との共有を図る。
ガイド養成講座					ガイド養成講座や日本ジオパークネットワークとの情報共有を通じて、専門用語を多用しないガイド手法を学ぶ。
ジオツアーの構築	検討		構築		推進協議会観光部会を中心に、さまざまな楽しませ方が出来るジオツアーの構築や販路の確立について検討する。
2. できるだけ早く解決すべき課題(おおむね2年以内)					
1 運営体制					
協議会事務局の体制強化					事務局員体制について、長期的視点に立った人員配置及び事務局員数の増員を含めた体制の強化を図る。
専門員の雇用					地域おこし協力隊の正規職員への雇用に向けた職員採用を実施する。
2 教育・研究について					
四国西予ジオミュージアムを活用した調査研究	検討		実施		四国西予ジオミュージアムを活用し、地形や地質、生態系や文化に関する研究や情報収集を進める研究ビジョンを検討する。
ジオパーク教育の持続的な体制の構築	構築		実施		推進協議会教育部会において、小・中・高校のジオパーク教材を作成中であり、教員が異動した場合でも学習が続けられる体制を作る。
3 ガイド制度について					
ガイド認定基準の設定					ガイドの認定については、初級・中級・上級のようなクラスを分けた基準を検討する。
安全管理ガイドマニュアルの共有			作成・共有		安全管理マニュアルを作成し、全体で共有する。
認定の審査員の登用					専門家やプロガイド等を審査員に登用する。
ガイド技術の継続的な更新・研鑽					ガイド養成講座を継続的に実施し、ガイド技術の向上を目指す。
ガイドの連携の仕組みづくり					ガイド団体同士の連携を強化するため、地域間での研修会等を実施する。また地域をまたぐツアーの構築により、連携を深める。
4 ジオツーリズムについて					
一体感のあるジオツアーの構築					市内旅行者やガイド団体との連携を図り、一体感のあるツアーを構築する。
タクシー等を利用したサイトめぐりの情報発信					現在、市内業者が運行を行っており、今後HPに掲載するなど連携を深める。
HP、パンフレット、看板等の多国語対応					HP、パンフレット、看板等の多国語対応を推進する。
5 ネットワーク活動について					
四国西予ジオパークの情報発信					四国西予ジオパークの取り組み事例を全国大会や、JGNメーリングニュースなどで積極的に情報発信する。
6 拠点施設について					
コミュニケーションの場の設置					拠点施設は展示のみでなく、ガイドや訪問者が集えるジオカフェスペースを設置す
7 西予市ジオパーク推進アドバイザーについて					
アドバイザーの業務の明確化					アドバイザーの業務の明確化を図る。
8 四国西予ジオパーク遺産の名称について					
遺産の名称の検討					専門家やネットワークを活用し、分類を再検討する。
3. 解決すべき課題(3、4年先を視野に)					
1 サイトの拡充、保全、安全管理について					
サイトの追加					自然、文化サイトの調査を実施し、サイトの充実を図る。
サイトの保全計画の検討					推進協議会保全部会を中心として、専門家との連携により、サイトの保全計画を検討する。
2 有形・無形文化遺産について					
有形・無形文化遺産の活用					有形・無形文化遺産を活用したジオツアーの造成に向けて、市教育委員会との連携を強化し、お互いの持つ情報の交換やジオガイド向けの現地研修会を行う。また教育やジオツーリズムでも積極的に活用を図る。
洞窟の調査研究					地域づくり団体と協力し、洞窟内生態系の保全のため、継続的に調査研究を進める。
3 可視性について					
テーマ、ストーリーに基づいた内容表示					看板、パンフレット等は、テーマ、ストーリーを踏まえた内容で表示する。
鉄道利用者への情報提供					駅舎及びその周辺でのパンフレットや掲示物など情報発信を強化する。
既存の公共施設との連携					駅前再開発事業において、駅舎付近への情報提供スペースを設置する。ジオミュージアム建設計画の中に、各施設との連携を進めることとしており、ロゴマークやパンフレット等を掲示、配布するよう計画を進める。
4 施設との連携について					
県歴史文化博物館との連携					県歴史文化博物館の学芸員との連携により、ジオパーク活動を推進する。
5 地元コミュニティの全面的かつ効果的な参加					
ジオパーク活動への参加の広がり					町並みガイドの会においても、ジオパークを紹介するガイドを行っており、今後もガイド同士の連携を深め、ジオパーク活動への参加を促進する。また、市内各地でジオカフェを開催し、ジオパーク活動への参加を推進する。